

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	港湾課
職	課長
氏名	小島 啓司

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
海の玄関口として、物流機能の強化を図り、多機能空間としての「うるおいと安らぎのある港湾空間」を創出し、「活力とにぎわい」のある港湾の整備を促進する。 ・産業の国際分業化が進展する中で地元企業の国際競争力の強化を図るため大水深岸壁等の整備促進や、物流の拠点としてのみならず環日本海時代におけるゲートウェイとして港湾機能の充実を図る。 ・良質な港湾環境を確保し、地域のまちづくりと一体となった活力と安らぎのある港湾空間の創出を図るとともに、安全安心な県民の暮らしを支える防災拠点としての機能を兼ね備えた多機能空間としての港づくりを推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
①港湾機能の充実による交流拠点港づくり ・環日本海時代における産業の国際競争力の強化に資するため、物流経費の削減や荷役の効率化等を図り、船舶の大型化や荷役形態等の変化に対応した港湾施設の整備を促進する。 ②快適でにぎわいのある港湾空間の創造 ・良質な港湾環境を確保し、まちづくりと一体となったにぎわいのある港づくりを進めるため、緑地や土砂処分場の整備を促進する。					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
②港湾空間の緑化率(金沢港ほか県管理9港)	4.5 %	H25 年	5.3 %	H28 年	港湾緑地整備の実績及び計画による(金沢港ほか9港の緑地整備計画)



26年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①港湾機能の充実	20年度に供用された金沢港大水深岸壁の更なる機能強化を図る整備や、御供田国際コンテナターミナルの施設整備、岸壁の物流を担う臨港道路や老朽化等により機能効率が低下した港湾施設の改良を行う。
②まちづくりと一体となったにぎわいのある港づくり	「新ほっと石川観光プラン」に基づく広域周遊観光の推進を図るため、七尾港や輪島港の旅客船バースの整備を推進する。また、まちづくりと一体となった港湾緑地の整備を促進し、地域の人々に親しまれる交流促進の場を提供する。
②リサイクル型社会に適応した港湾廃棄物の有効利用	航路等の浚渫により発生する大量の廃棄土砂を有効利用するため、金沢港、七尾港における浚渫土砂埋立護岸の整備を促進する。